平成24年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

一日に何べんも友だちや周りの人の「ありがとう」が聞こえる生活。人の心がいつもつながっているようで、温かい気持ちになる。

※次のむすび方でもよい。「な」

学年 六年

氏名

課題解説

いい関係

友だちと何かのはずみで気まずくなってしまったけれど、何かで、どちらかが「ありがとう」と言ったのがきっかけで元の仲良しにもどった、そんな体験をしたことはありませんか。気まずい関係のときはなかなか言えないのが「ありがとう」。それが素直に、自然に言える関係はとても良い関係と言えますね。心がつながっていないと言えない言葉なのですね。言っても、言われてもうれしくなる言葉「ありがとう」。あなたはいつも自然に言えていますか。

ありがとう―「有り難し」は、あることが難しい、つまりめったにない、貴重だ、などの意味でした。それが、仏の慈悲などへの宗教的な感謝の意味を表す言葉になり、さらに感謝の意味として一般にも使われるようになったとされています。

（課題文は「書文協ことば選定会議」創作）

角川学芸出版
「えんぴつ文字練習帳（上級編）」所収